

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	新規就農者数(累計)	人	—	—	2			4
2	農林産物の付加価値向上に取り組む事業者数	事業者	11	R2	11			15
3	中山間地域の活性化・魅力化につながる取組件数	件	1	R2	1			5
4	利用間伐施業面積	ha	55	R2	51.55			60
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目		現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	農業・林業が盛んに行われている	重要度 0.77			
		満足度 ▲ 0.17			
2		重要度			
		満足度			
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 農業経営体の育成・確保	地域農業の維持・発展を図るため、認定新規就農者や集落営農組織等の育成・確保を図った。引き続き、農業経営体を支援していく。
② 農業経営の安定化	経営規模の拡大等を図る農業経営体への農地利用集積の推進を図った。引き続き、経済的支援を行い、持続可能な農業経営を目指す。
③ 中山間地域の活性化・魅力化	農業生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動を支援した。今後も魅力ある地域資源を活用した地域活性化策を進める。
④ 林業経営の安定化	林業経営の安定化に向けて安定した事業量を確保するとともに、森林整備を実施した。今後も林業経営体の経営が安定するよう支援する。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

農業経営体の育成・確保については、農業従事者の高齢化や後継者不足等の「人と農地の問題」を解決するため、関新所地区でアンケート調査・地域での話し合いや、三寺・中の山地区でアンケート調査を行った。これにより、市内3地区で地域計画の作成を進めることができた。また、新たな担い手として2名の新規就農者の確保が図られた。農業経営の安定化については、持続可能かつ高付加価値な農業を行う経営体を亀山サステナブルファーマーとして6事業者を認証し、奨励金の交付を行った。また、豚熱や鳥インフルエンザなどの家畜伝染病対策として消毒用の消石灰配布や豚熱ワクチン接種費用や肥料価格高騰による農業経営への影響緩和や持続可能な農業経営へ補助金を交付するなど農畜産業の経営の安定化の支援を行った。中山間地域の活性化・魅力化については、新型コロナウイルス感染症の感染防止による自粛が影響し、中山間地域活性化事業補助金を活用したのは1団体のみであったが、休耕田に栽培された一団の蓮は田園景観の向上を図り、市内外から見学者が訪れるなど中山間地域の活性化につながった。林業経営の安定化については、森林整備計画で位置付けた生産林において、市内林業事業者が、利用間伐や間伐材の排出等により適切な森林整備が実施され、森林の持つ公益的機能の維持・発揮が図られるとともに、安定した事業量の確保により、林業事業者の経営安定化につながった。農業従事者の高齢化や後継者不足等、課題はあるものの、様々な取り組みにより農林業の経営安定化に向け、まずまず進めることができた。

B

まずまず進んだ

今後の展開方針

地域農業の維持・発展を図り、農業の担い手の育成・確保と農業経営の安定化を図るため、農畜産業への支援を継続して実施するとともに、地域での地域計画の作成をさらに支援していく。また、認定農業者や営農組織が持続的に経営が図れるよう、農地の集積や持続可能な農業経営の安定化や高付加価値農業の展開による稼げる農業への支援を進める。さらに、林業事業者の生産活動に対しては、引き続き、林業生産活動支援事業を着実に進めることで、林業事業者の経営の安定化と適切な森林の管理につなげていく。一方で、これまで農林業を所管する部署で獣害対策を所管してきたが、通学途中の児童がサルによる人的被害があったこともあり、新たに専門に行う部署を設置し、獣害対策を強化する。